

第 146 号

2017 年 10 月 27 日

発行 平生町議会

〒742-1195

山口県熊毛郡平生町大字平生町 210-1

TEL 0820-56-7110 FAX 0820-56-7109

発行責任者 福田 洋明

編集 議会広報広聴調査特別委員会

印刷 中村印刷株式会社

議 平生町
議会だより



一生けんめい旗をふったよ (10月7日 ひらお保育園)

9 月
議会報告

定例会	2 ページ
常任委員会審査報告	3 ページ
決算審査特別委員会報告	4 ページ
いっぱん質問	5 ページ
議会の動きなど	12 ページ





実質単年度収支 8,500 万円の赤字！

平成29年第4回平生町議会定例会が、9月12日から22日までの11日間の日程で行われ、議案として、補正予算4件、事件1件、認定7件、同意1件が上程されました。各議案は全会一致及び賛成多数で可決されました。一般質問は7人の議員が町政の諸課題について質問しました。なお、今回は、決算審査特別委員会が設置され、議長・監査委員を除く9名にて審査いたしました。

補正予算

1億2,897万円増額
 予算総額
 49億397万円

歳出

▽財産管理費
 第3庁舎の空調整備
 105万円増額

新庁舎の建設に必要な基本構想・計画の策定委託料
 897万円増額

公共施設建設基金積立
 500万円増額

佐賀地域交流センター防
 水・床改修工事費
 1,500万円増額

▽農業振興費
 たまねぎ調整機購入補助
 金
 107万円増額

▽小学校学校管理費
 学校施設・設備の老朽化に伴う修繕料
 180万円増額

平生小学校昇降口の降雨
 時対策
 130万円増額

▽保健体育施設費
 堀川公園藤棚改修
 198万円増額

特別会計

▽国民健康保険事業勘定
 特別会計
 1億4,939万円増額
 予算総額
 20億8,651万円増額

※平成30年度からの国保
 広域化により財政運営を
 県主体で実施するので、
 関係準備事業費として必
 要となるシステム改修費
 を計上

▽介護保険事業勘定特別
 会計
 3,997万円増額
 予算総額
 13億7,923万円

町長提案理由

「ニッポン1億総活躍プラン」のもと、保育士の処遇改善等に係る事業費には、地方負担額を要することから、子ども子育て支援に係る経費の充実にとれない、単位費用が増額となり、乳幼児の人数増加が算定されたことが主な要因です。



常任委員会審査報告

総務厚生常任委員会

9月12日の本会議から付託を受けた案件を、9月19日、慎重に審査した結果、議案は全会一致ですべて可決しました。主だった審査経過は次のとおりです。

補正予算一般会計

質 公共施設建設基金と財政基金の積み立ての考え方は。

答 新庁舎建設に当たり、建設基金は必要。

国の新しい起債制度に乗り、基金を充当しながら一般財源の支出を極力抑える。

財政基金へは、 $\frac{1}{2}$ 以上を積みながら、32年度を目途に少しずつ積み増す。

質 佐賀地域交流センター工事請負費の県補助金について説明を。

また、修繕料は何か。
答 工事請負費は、雨漏りとカーペット改修。

交流センターへの移行

で、県補助制度の活用が可能となった。優先順位をつけ30年度は別の整備に充当したい。

修繕料は、まち・むらセンターと田名分館のエアコン修繕、尾国分館講座室の誘導灯設置と扉の改修。

質 老人福祉センターの下水道接続の現況は。流量調整槽・スクリーン槽保守点検とは。

槽の必要性は何か。直接つないでも問題ないのでは。

答 繰越事業で、つなぎ込み工事が7月に完了し、浄化槽保守は7月末まで。

2つの槽は既存施設で、下水道への流量コントロールと、流入する粗大浮遊物除去のため保守を残すもの。つなぎ込みは点検業者と下水道班とで再協議する。

産業文教常任委員会

9月12日の本会議から付託を受けた案件を、9月20日、慎重に審査した結果、議案は全会一致ですべて可決しました。主だった審査経過は次のとおりです。

補正予算一般会計

質 農業振興費補助金、タマネギ産地競争力強化対策事業。作付面積や売上高の影響は。目標の現は可能か。

答 28年度実績では、面積6.4ha。出荷量109・5t。32年度では9ha、316tを目標に、そのほとんどを農業法人が取り組む。

質 堀川公園藤棚改修工事請負費の内訳は。藤の樹齢と植えた経緯。公園全体をどう整備していくのか。考えは。

答 解体処理し、新設。藤を巻く造園作業。

撤去費用が約70万円、新しい棚が約50万円、造園工が約20万円と他は諸経費等。樹齢30年以上。以前あったものを移設した可能性が高い。また、子育て支援団体から具体的な要望が出ている。まずは生い茂った木の整理をする。

質 図書館事務補助員の中で副館長業務を行う嘱託職員が管理職まがいの業務をしている。常態化すればこなせる者が限られてくる。人材活用をどう考えているのか。

答 副館長は図書館運営のリーダー。主にソフト面、団体との交渉、事業全体・現場の声の集約。館長と協議し教育委員全体の考え方としていく。



佐賀地域交流センター



堀川公園の藤棚

決算審査特別委員会

質 普通交付税減少の要因は錯誤措置によるものか。

答 普通交付税は27年度錯誤措置の減額分とあわせ、国勢調査での人口減少が大きく影響を受けている。

質 地方消費税交付金は、前年度実績、地方財政計画での伸び率等を踏まえ計上。不透明部分を含め県に照会した。譲渡割と、外国貨物輸入の貨物割があるが、外国貨物の落ち込みが見込めず推移を見ながら決算を迎えた。

質 財務財産管理費、財政基金積立金において、基金使用のルールはないのか。財政指標の改善・赤字からの脱却は難しいのではないか。

答 基金に頼らない財政運営が理想だが、努力しても取り崩さなければ賄えない現状。基金が少ない原因は一般財源の減。新たなルールでやっていく。

質 企画振興費、同窓会支援事業補助金の費用対効果と追跡・分析は。

答 ふるさと納税やファンクラブ事業の紹介、平生に戻る意思があるか同窓会でアンケートを実施した。

戻る意思のある人がいれば、空き家バンクの状況などをお知らせしている。

質 児童環境づくり推進事業費、児童クラブ指導員賃金。適正賃金等どうしていくか。

答 利用待機者がいる。児童館とは別の場所で行う方向で新年度に協議する。資格保有者を優先的に雇用。賃金差は設けていないが、総括的な仕事をしてもらう指導員がいる。



同窓会風景

質 保健師設置費、産科医確保支援事業。周東病院産科医処遇改善。のべ人数は。指導訪問の実績が2倍である。保健師の人的体制・負担はどうか。

答 分娩件数当たり1万円上限で27万円。出生数七、八十件のうちの周東病院での分娩数。保健師に負担がかかっているのは事実。早期支援につなげたい。

臨時看護師2名で対応。子育て包括支援センターを32年度までにということで、体制整備・強化していきたい。

反対討論

以下の理由により反対。

- ▽実質公債費比率 (単年度)
 - 27年度 13.68%
 - 28年度 14.38%
 - 0.68%悪化。



平生中央児童館

監査決算審査意見

▽将来負担比率
27年度 168.1%
28年度 173.2%
5.1%悪化。
▽経常収支比率
94.3%。

27年度より5.1%悪化。
【歳入歳出決算額】
▽単年度収支が6,821万円の赤字。
▽当初予算と比較し、歳入歳出予算計上が甘い。今の財政状況では予算計上の甘さが財政運営を悪化させる一因となる。
▽財政基金は減少。年度末残高3億5,338万円、約1,684万円減少となっている。

歳出削減の努力がされていないわけではないが、予期しない地方交付税の大幅な落ち込みに見られるように、国・県からの歳入を見込むにあたって、前年度数値を楽観した面は否定できない。
結果として(実質単年度収支)8,500万円の赤字。
予算編成の段階から歳入は厳しく低めに査定し、歳出は選択と集中の原則で、従来からの事業を抜本的にふるいにかけて、また、前例踏襲でない目的重視の業務改善により大幅な削減に取り組みされた。



河藤泰明 議員

いっばん質問



が聞きたい

質 新庁舎は、平生町の将来の姿だ

答 意見等も十分踏えて検討していく



昭和35年に建てられた庁舎

質

整備される新庁舎は、平生町の将来の姿だ。整備の方針を、担当者へ、どのような方法で伝えたのか。平生町の縮図が、平生町役場の姿であると考え。生きがいを持って働ける、雰囲気の良い、活気に満ち溢れた庁舎になれば、平生町全体も元気な町になると思うがどうか。建設工事は、町内業者の力を集め、平生町のシンボルを作り上げる仕組みはできないか。

答

町長

検討委員会で一定の確認をしながら、担当者の意見を聞き今回の取り組みを進めている。いろんな町の重要課題等について、職員自らが講師になって研修したり、講師を招いて全職員で研修をしている。この辺の今後の周知を含めて対応していきたい。業者関係はこれから基本計画、基本設計、実施設計という格好にいくが、意見等も十分に踏えて検討していく。

質 投票率改善への取り組みを

答 必要性について判断していく

質

投票率改善のために投票しやすい投票所の設置はできないか。町議会選挙で名前の連呼や、全文聞き取れない、移動しながらの公約の読み上げよりは、投票行動の判断材料になると思うが、選挙広報の発行はできないか。既存の啓発活動を、さらに充実させるための取り組みはできないか。特に選挙期間以外で、できる事はないか。

答

選管事務局長

利便性の高い施設における投票所設置の動きがあることから動向を注視し、利便性を考慮した環境の整備に努めていきたい。町会議員選挙における選挙広報の取り組みが行われている所もあり、選挙への関心を高めることを踏まえながら、その必要性について判断していく。町広報でのお知らせや成人式において新人に啓発資料の配布を行っている。



めいすいくん スマイル隊

明るい選挙のイメージキャラクター



渚上正博 議員

質 特別徴収税額決定通知書に対するチェック機能は

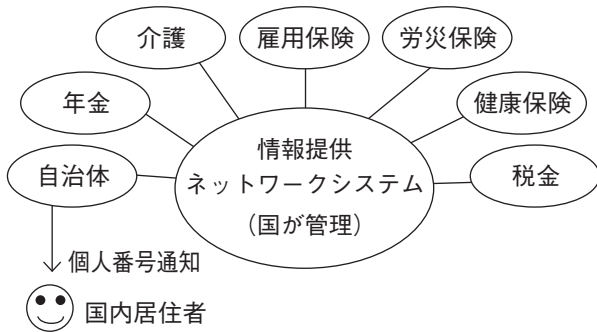
答 職員相互のチェックが必要

質

総務省は、来年5月に各市町村民税などの「特別徴収税額の決定書」に従業員にマイナンバーを記入するよう市区町村に勧めている。

現在、従業員のマイナンバーが記載された住民税の通知書が誤って別の事業所に送られ、番号の漏えい問題となっている。

また、マイナンバーの扱いのずさんさに大きな批判が上がっている。当町のチェック機能は。



答

町長

本町は小規模な自治体なので担当職員も限られるが、マイナンバーを扱うことのできる職員は限定していかなければならない。

職員相互のチェック作業、これを複層的に実施していくことが必要だと考えている。

送付の方法としては簡易書留を利用することになると思う。また、郵送に当たっては誤送付にならないように郵便局にもしっかりお願いする。

質 豪雨への備えはできているか

答 水位計のある河川の状況を判断しながら対応していく

質

台風や不安定な大気の影響などによる、記録的豪雨が日本列島各地に被害をもたらしている。

高い山もなく、川らしい川もない当町においても、1時間に50ミリを超える雨が降れば、小さな川ほど早く増水し災害に発展していく。

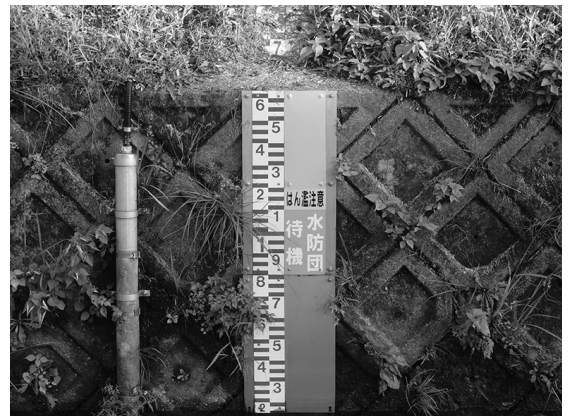
小さな川でも災害時避難の目安となる水位計が必要だと思うが、当町の考えは。

答

町長

国において中小の河川の水位計について検討が行われている。国交省の国土保全局で低コスト水位計の実証試験が行われていると聞いている。

早いうちに全国展開していくことが国交省の考えのようである。その辺の状況も踏まえながら、検討を進めていく。今は、水位計が設置されている河川の状況を判断しながら、対応していく。



大内川に設置してある水位計



岩本ひろ子 議員

質 河川の清掃・整備について

答 河川管理者である県との連携をしっかりとる

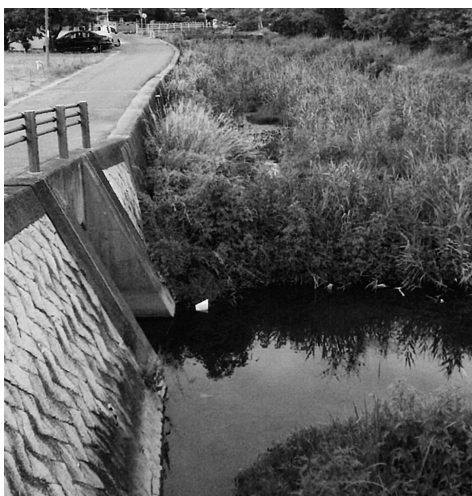
質

町内には何本かの河川があるが生活圏内の状況を見る時に雑草が繁茂して見苦しくなっている。空瓶・タイヤ等その他のゴミが投棄されている状態であり、長年蓄積された泥で川が浅くなり、大雨が降った時には洪水が起こるのではないかと危惧される。防災の面からみても清掃・整備を早急に取組む必要があるが町としての対応は。また、県の河川関係機関との連携は。

答

町長

大内川、熊川、堀川、大井川と中心部に大きな川がある。農地の荒廃等の影響又住宅環境等の変化等もあり、流入する土砂の量も増え、いろいろな雑草が繁茂する等々状況が発生している。環境整備・保全是河川管理者である県になるが、町が窓口になり、いろいろな要望をしているのが現状。道路、河川、港湾等々の状況についても意見交換している。



熊川に繁茂している雑草

質 児童・生徒の体力向上について

答 運動能力、体力について向上をめざす

質

平成28年度の全国体力運動能力の調査結果対象者は小学5年生と中学2年生だったが山口県の児童・生徒の体力は全国平均より下回っている。当町の児童・生徒の体力は全国や県の平均と比較してどのような状態になっているのか。また今後の体力向上に向けての取り組みについて問う。

答

教育長

体力調査は筋力、筋持久力、柔軟性、敏捷性、持久力等の項目があり、おおよそ全体的に中学年が全国や県の平均より低く、高学年になるほど全国や県の平均同等か高い種目も増えている。対策として、運動の持つ楽しさを味わせる、運動が自身の健康に及ぼす効果を理解させる、体力・運動能力の要素を高めるなど発育・発達状況にあわせ実践している。



赤白どっちが勝つか



村中仁司 議員

質 夏休み短縮について教育長の考えを問う

答 方向性は学校と協議し進めて行く

質

全国的に公立小中学校の夏休み短縮が広がっている。背景には「脱ゆとり教育」を指した学習指導要領改訂による授業時間の増加にある。

学校現場では授業時間の確保のため、夏休み短縮以外にも土曜日授業を行うなど試行錯誤が続いている。教育改革として大幅短縮を目指している自治体もある。夏休み短縮について教育長の考えは。



授業時間の確保が議論されている平生中学校

答

教育長

夏休み短縮の報道がなされ賛否両論の議論が沸き起こっているが全国的な実態について調査したものはない。エアコンを設置した

自治体が授業時数の確保と教職員の多忙の解消から1、2週間短縮したが実施校は多くない。平成32年度から実施の次期学習指導要領では授業時数確保の点から議論が活発化すると思う。

質 孤独死対策について問う

答 見守り活動を充実していく

質

孤独死を迎える高齢者の年間の数は増加の一途をたどっている。孤独死の原因となる一人暮らしの高齢者は「健康面に問題がある」「経済面に問題がある」「社会との関わりがない」「家族や親族がいらないから疎遠となる」これらのことに関して町は把握しているのか。

65歳以上のひとり暮らし1,193人、75歳以上のふたり暮らし604人、寝たきりの高齢者を対象に民生委員の協力により実態調査を行い、見守り活動の資料としてファイルしている。緊急通報装置は75台利用がある。社会福祉協議会も見守り活動を展開している。コミュニティ協議会で対応のところもあり今後協議してみたい。



余興を楽しむ高齢者（9月18日）



松本武士 議員

質 快適で住みよい街づくりをしているのか

答 適宜対応する

質

①大内川排水機場前辺りの雑草は、十七夜祭り直前に刈るよう県に要望していないのか。
②平生幼稚園前の蕨はなぜ、道路まで出るまで放置したのか。
③「平生」交差点付近の花壇等のみすぼらしさは改善できないのか。
④河川法面の除草剤散布は、法律違反ではないのか。対策は。
⑤民家に放置してある石綿を含むスレート瓦は処理できないのか。

答

町長

①業者の都合。事前に要望していく。
②大井川から伸びてくるため、県と協議していたが、はみ出してきたため町が刈った。
③花壇は「山口ゆめ花博」の植栽に活用する。
④河川法は県河川に適用される。具体的な対応は、県と協議する。
⑤最終処分場で処分しなければならぬ。所有者に対しては適切に処分するよう指導する。



放置されているスレート

質 少子高齢化社会の対策として多文化共生社会を目指すべきではないか

答 将来にむけ目指していく

質

①現在、外国人に対して平生町では、どのような支援をしているのか。国・県との連携はあるのか。
②「多文化共生推進プラン」を作り、イタリア半島構想等をもとに友好都市協定を結ぶのはどうか。
③外国人の受け入れを強化するよう国に政策提言してはどうか。

答

町長

①約100名あった外国人登録は、現在50名と半減している。言語の問題も含めて、状況を見ながら対応する。県とは情報収集しながら施策を活用する。
②我々の認識も含めて、環境づくりが必要になる。国際化の時代で、将来に向け、多文化共生社会を目指していく。
③国としても、しっかりバランスが取れるように要望したい。



町内イベントに参加した外国人



細田留美子 議員

質 地区の自立は進んでいるのか

答 しっかり連携を取りながら進めていく

質

参加と協働のまちづくり条例ができて5年が過ぎたが状況はどうか。町長のリーダーシップの取り方と全体の進捗度、行政の役割と制度は整ってきたか。指定管理を受けられる地区はあるのか。公民館から地域交流センターとなり住民の反応はどうか。運営は順調か。生涯学習の拠点でもあるが教育委員会の対応を聞く。

答

町長

道半ば。形は整いつつある。夢プラン実現に向けて取り組みを、地域振興課を中心に、しっかり連携をとりながら進めていく。前年並みの利用実績である。指定管理は体制が整い次第進めていく。おおむね大きな困難なく移行できている。

答

教育長

地域住民の最も身近な生涯学習の拠点として、今後も継続して支援していく。



コミュニティ協議会の合同研修会

質 集落支援員の活動は

答 セミナーなどで能力向上を図っていく

質

総務省は過疎地域等における集落対策の推進について集落支援制度を創設した。これを利用して今回4地区に配置された。採用時に使命や役割をどのように説明したのか。日常の業務の把握はどのようにしているのか。支援員への指導体制と活動の現状を聞く。また支援員同士の交流はどうなっているのか質問する。

答

町長

採用時に活動実績集などを配布し、業務内容などを指示している。活動日誌により状況を把握しながら適切なアドバイスをしている。今後も指導はしっかりやっていく。嘱託職員やコミュニティの意見交換会やセミナーでの研修など、人材育成に取り組んでいる。



セミナーを受けている集落支援員



中本敦子 議員

質 新庁舎建設は補正前に町民の意見を聞くべきではないか

答 基本計画をつくり町民の意見を聞く

質

財源6億円を見込んだ、新庁舎整備庁内検討委員会が町職員のみで設置検討され、場所、機能規模などすべて計画表が作成されている。

曾根公民館建設は地元集会を解体後に役場で開催し、不満は今もくすぶっている。同じくくり返しにならない様、町民の意見を早急にきくべきではないか。誇れる平生町を次世代につなげるべきと思うがどうか。

答 町長

新庁舎建設に対して、昨年の熊本地震を受けて、国において市町村役場機能緊急保全事業が創設された。

また、この事業は、平成32年までとなっている。庁舎建設を逆算していくと、まず基本構想と基本計画というたまたき台をつくって、町民の皆さんの意見を聞き、具体的な計画を進めていくことになる。



庁舎建設の候補地

議会研修報告

熊毛郡町議会議員 合同研修会

7月19日郡町議会議員合同研修会が平生町役場第3庁舎大会議室で開かれました。講師に山口県健康福祉部障害者支援課の課長の佐藤始氏・主幹の村谷利浩氏を迎え「障害者差別解消法の実施と地方自治体の取り組みについて」と題した講演を聴きました。平成28年4月に障害者差別解

消法が施行されました。この法律は、障害のある人への差別をなくすことで、障害のある人もない人も共に生きる社会をつくることを目指しています。不当な差別的取り扱いの禁止と合理的配慮の提供などについて説明がありました。当町においても障害者への対応のあり方を再確認する必要があります。充実した取り組みをしていければと感じました。

教育委員任命に同意

松村央美教育委員が任期満了になり、再度任命することに全会一致で同意しました。



松村央美
教育委員

柳井地区広域市町議会 議員研修会

柳井地区広域市町議会議員研修会が7月24日に柳井市のベルゼで開催されました。

講師に山口県知事村岡嗣政氏を迎え「活みなぎる山口県」の実現に向けてと題した講演を聴きました。

山口県の人口の現状と課題や人口ビジョンにおける将来展望についてと、まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点的な取り組みの紹介がありました。知事は山口県の発展のために経済発展・人口増加への取り組み全般に力を入れて実行しています。当町も情報収集をして県と共に発展していけるように連携を密にする必要があると感じました。



山口県町議会実務研修会



8月30日山口県町議会実務研修会が山口市のセントコア山口で開催されました。講師に駒澤大学法学部教授大山礼子氏を迎え「これから求められる町村議会の役割」と題した講演を聴きました。

ますます重要になる議会の役割として少子高齢化から人口減少社会が到来、グローバル化から地域社会の疲弊によって多様な民意の反映、合意形成、地域に根差した政策立案が必要になるというものです。今後の議会活動の参考となる有意義な研修となりました。

平成29年12月定例会会期（予定）

12月13日	9時	本会議
12月14日	9時	本会議
12月18日	9時	産業文教常任委員会
12月19日	9時	総務厚生常任委員会
12月21日	9時	議会運営委員会
12月22日	10時	本会議

議会の動き

7月12日	議会広報広聴調査特別委員会
7月19日	郡町議会議員研修会
7月20日	議会広報広聴調査特別委員会
7月24日	第18回柳井地区広域市町議会議員研修会
7月29日	第3回定例会
6月19日	議会広報広聴調査特別委員会
6月27日	議会運営委員会
6月27日	議会全員協議会
6月27日	議会広報広聴調査特別委員会
8月10日	議会全員協議会
8月21日	産業文教常任委員会
8月23日	総務厚生常任委員会
8月25日	議会運営委員会
8月29日	議会全員協議会
8月30日	議会実務研修会

原稿募集

議会のこと、我が町自慢、つれづれに思うこと、何でも結構です。

- ・ 字数 400字以内
- ・ 提出先 平生町役場議会事務局 議会広報担当者

紙面の都合で一部変更することもあります。ご了承ください。掲載文には薄謝を差しあげます。

編集後記

▼秋も深まり、10月も終わろうとしています。秋には紅葉狩り、栗拾い、フルーツ狩りなどいろいろイベントがありますが、その中でも運動会は秋の大イベントだと思えます。保育園、幼稚園、小学校、中学校と運動会が無事に行われました。保育園の運動会では小さなお子様も遊戯や徒競走を楽しんでいる様子。はとてかわいらしくて、心が和みました。元気にのびのびと育つてほしいと思います。▼11月になると年賀状の販売がはじまります。今年も残り2か月となりました。皆さん今年立てた目標は達成できましたか？なにかと忙しい時期になりますので、交通事故に気を付け、火の元にも注意し、元気に過ごしましょう。

最後に「議会だより」より、ご意見または、楽しい、珍しい、耳より情報などございましたら議会広報委員会まで寄稿してください。お待ちしております。

岩本ひろ子